

4 公務員の仕事

① 公務員の種類

公務員には、国家公務員と地方公務員があります。

国の官庁やその出先機関で働くのが国家公務員、県庁や市役所（町村役場）及びその出先機関で働くのが地方公務員です。

国家公務員と言っても、総合職・一般職のほかに、国税専門官や衆・参議院事務局職員などさまざまな採用試験が実施されています。

地方公務員の場合も、知事（市長）部局で仕事に就く職員とは別に、警察官や消防官などの公安職のように、特定の仕事に従事する職員もいます。警察官は都道府県、消防官は市町村（又は広域消防組合）の職員に属し、県立・市立学校の事務職員については、都道府県と市がそれぞれ採用試験を行っています。

(1) 国家公務員

行政職を目指すなら、総合職・一般職などがあり、これらは採用後幅広い仕事に従事できます。

専門職なら、国税専門官、労働基準監督官などがありますが、総合職でも、技術系の職種（試験区分）で合格し、研究職としての道を選べば、その道一筋、専門分野の仕事に従事できます。

(2) 地方公務員

公共の利益のために働く、という実感を強く持てるのが地方公務員です。行政が地域に密着しているので、範囲は限定されますが、自分たちの街をよくするという喜びには大きなものがあります。

〈公務員の種類と特色〉

区 分		主な勤務先	仕 事 内 容
国家公務員	国家総合職 (院卒・大卒)	各省庁	従来の幹部候補として採用されるキャリア。政策の企画立案、法律の制定・改定、予算編成など、日本の将来を左右する行政の中樞を担う。異動を繰り返し、ゼネラリストとしての見識を深めていく。
	国家一般職	各省庁の本庁 および附属機関	中央官庁の中堅職員あるいは出向機関の幹部職員として、国家の屋台骨を支える存在である。スペシャリストとして特定の部局を中心にした異動が多い。職務形態は多様である。
地方公務員	道府県庁	各道府県庁および その出先機関	市役所の区域を越える広域的行事や連絡行政事務を行う。総合開発企画の策定や道路・河川の管理など、仕事の分野は幅広い。特定の部局に限らず、本庁の各部門や出先機関の様々な職場に幅広く配置され、多様な職務に従事する。
	都 庁	東京都庁および その出先機関	業務内容は基本的に道府県と同じだが、1,300万人の都民を対象に日本の首都東京の未来を担う大変やりがいのある仕事である。
	政令指定都市	札幌市、仙台市、横浜市、名古屋市、大阪市、福岡市 ほか	政令で指定を受けた人口50万人以上の市。本来道府県が行う事務を含め、一般の市に比べて分掌事務が広範囲にわたる。
	特 別 区	東京23区の各区役所	事務内容は基本的に一般の都市と同じであるが、首都東京に拠点を置きつつ地元に着目した仕事ができるという魅力がある。
	市役所 町村役場	各市役所 各町村役場	住民生活に密着した第一線の業務を担う。住民の健康安全の確保、戸籍の管理など身近で基礎的なサービスを提供する。